

都市・建築学専攻における博士課程前期2年の課程の試験内容の変更について

都市・建築学専攻では、令和3年度実施入試（令和3年10月入学、及び令和4年4月入学）より、博士課程前期2年の課程の試験内容を下記の通り変更*します。

*変更は下線部分です。

（一般選抜（入学））

（9月卒業見込者・既卒者を対象とする選抜）

（早期卒業制度による卒業者を対象とする特別選抜）

試験科目	試験内容	
英語	入学試験実施日から過去2年以内に受験したTOEFL® TestまたはTOEIC®公開テストのスコアシートの原本を出願時に提出すること。	
<u>共通科目</u>	<u>都市・建築デザイン、都市・建築計画、建築環境、建築構造の各分野について、それぞれの基礎的知識を問う問題</u>	
専門科目	<u>都市・建築デザイン学講座</u>	<u>都市デザイン、建築デザイン、構造デザインに関する3問程度出題</u>
	都市・建築計画学講座	建築計画、都市計画、建築史に関する問題を各1～3問程度出題
	サステナブル空間構成学講座	建築環境・設備工学、建築材料学、建築構造学に関する問題を各1～3問程度出題
	建築構造工学講座	<u>建築構造力学、鉄骨造、RC造、振動論・建築防災工学</u> に関する問題を各1～3問程度出題
	都市・建築デザイン学講座	設計製図
<u>面接</u>		

※試験科目に「共通科目」を追加。

試験科目「専門科目」において、

- ・都市・建築デザイン学講座の出題を設計製図のみに変更。
- ・都市・建築計画学講座の出題数を各1～3問程度に変更
- ・建築構造工学講座の出題を建築構造力学、鉄骨造、RC造、振動論・建築防災工学に変更

試験科目「面接」を削除。